

社会医療法人 芳和会
第7期 次世代育成・女性活躍推進支援「行動計画」

2023年3月23日策定

従業員がワークライフバランスの充実を図り、仕事と子育てを両立しながらその能力を十分に発揮でき、男女ともに活躍できる職場環境や安心して働き続けられる雇用環境の整備と次世代育成支援を行い、事業所として地域に貢献する取り組みのため、下記の行動計画を策定する。今後、この計画に沿って積極的な両立支援を進める。

I・計画期間 **令和5年4月1日～令和8年3月31日（3年間）**

II・次世代育成・女性活躍推進支援「行動計画」を全職員に周知徹底し、目標に向けて取り組むことを確認する。

III・行動計画の目標

(1) 妊娠中の労働者及び子育てを行う労働者の職業生活と家庭生活との両立を支援するための雇用環境の整備

① 男性の子育て目的の休暇の取得促進

目標1. 計画期間中に、男性の育児休業を10人以上取得する。

《実施期間》 令和5年4月1日～令和8年3月31日

＜対策＞ パンフレットの作成と職場への周知及び対象者の把握を行う。

取得者の経験談をもとに、夫婦で協力する育児、育児休業の活用を知らせていく。

② 安心して子育てができる環境づくり・職場づくりを推進

目標2. 2021年度的全職員アンケートにおいて（回収率59%）、過去3年間マタハラ・パタハラを受けたとする回答が2%（11件）あり、計画期間中にゼロを目指す。

《実施期間》 令和5年4月1日～令和8年3月31日

＜対策＞ 法人内ハラスメント対策委員会活動は定着している。引き続き相談窓口の強化を図るとともに、管理者向け、職員向けの学習会を実施する。3年に1回（令和6年）全職員アンケートを継続して行い、全職員と共有、ハラスメントのない明るい職場づくりを職員と共に取り組む。

(2) 働き方の見直しに資する多様な労働条件の整備

① 所定外労働の削減のための措置の実施

目標1. 「ノー残業デー」を全事業所・全職場で取り組み、実践していく。それと合わせて所定外総労働時間の削減を行い、過去3年平均で10%削減を目指す。

《実施期間》 令和5年4月1日～令和8年3月31日

＜対策＞ (1) ワークライフバランスの取り組みと合わせて、残業時間の短縮にとりくむ。

(2) 各事業所・職場で定時退社の為の業務の見直しを行い、現状・問題点・解決策についてまとめ、改善につなげる。

(3) 「ノー残業デー」月 1 回の設定と実践は定着しており、更に意識を高めて回数や曜日設定の改善を図り、ノー残業デーの日は残業 0 を追求する。

(4) 各事業所の「ノー残業デー」の実績報告を徹底させ、意識の向上を促す。時間外総労働時間について半年ごとに委員会で時間削減の進捗を確認する。

②年次有給休暇の取得の促進のための措置の実施

目標 2. 年次有給休暇取得の促進を図り、全体の有給休暇平均取得 15 日以上を目指す。
(2021 年度、過去 3 年間の取得率が平均 80.7%であり、3 年後は 82%以上を目指す。)

《実施期間》 令和 5 年 4 月 1 日～

＜対策＞ (1) 会議報告で事業所・職場の取得率を共有し、ニュース等で発信する。

各事業所で取得率の低い職場を改善するための課題と対策の実践で、職場間の格差を縮め、各事業所・職場ごとの取得率を上げる。

(2) 年間休日計画カレンダーの活用を図り、リフレッシュ休暇の取得をめざす。

(3) 全職員参加の改善運動を進める。

(3) 次世代育成支援対策に関する事項

①子どもが、保護者である労働者の働いているところを実際に見ることができる

「子ども参観日」の実施

目標 1. 「子ども参観日」の実施。職員・労働者との親子の交流を図る。

《実施期間》 令和 5 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

＜対策＞ (1) 2013 年から毎年開催していたが、2020～2022 年度はコロナ禍で開催できなかった。

本計画期間に病院探検及び職業体験など内容を充実させて継続する。

(2) 健康友の会（共同組織）と連携し「子どもお助け塾」との合同開催など地域の子どもの参加も募る。「子育てサークル」活動への参加など地域とのつながりを広げる。

(4) 女性活躍推進に関する事項

①女性役員比率 35%を目指す。

目標 1. 計画期間中に役員のうち女性割合を現在の 25%から 35%を目指す。

《実施期間》 令和 5 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

＜対策＞ (1) 2022 年 7 月施行の女性活躍推進法改正を受け、女性活躍に関する男女の賃金差異などの「情報公表」に対応するとともに、女性活躍の指標で管理する。

(2) 目標の実現に向け、女性活躍に関する各種データを収集する仕組みを構築して活用する。

以上